

「3-2 農林漁業の振興」に関する意見対応一覧表（第3回専門部会）

資料 4

意見箇所	委員からの意見（編集）	対応・質問に対する回答（案）
現状・課題 取組方針	農地の所有者には、農地に財産的な価値を見出しており、貸さない人もいると思う。集積率はこれ以上伸ばすのは難しいかもしれない。	・80.0%を目標にして取り組みます。
現状・課題 取組方針	アクティブシニア等の多様な人材が活躍できる制度があっても良いのではないか。	・「現状・課題」に追記しました。
現状・課題 取組方針	農業は高齢者の生きがいづくりにもなるのではないか。野洲の地域や環境を保全し、同時に高齢者の生きがいにもなるよう、わずかな土地でも作物を作って農業を楽しめるような住みよいまちになると良い。	
現状・課題 取組方針	スマート農業により、昔の農業のようなつらい作業は減ってきた。スマート農業への転換を行政が支援する必要がある。	・取組方針①の主な取組に追記しました。
現状・課題 取組方針	販路拡大については、野洲市にも生産者が直接農産物を販売する拠点が必要である。	・販売所としては駅前のすまいる市がある他、7月に開所した野洲市健康スポーツセンター内に設置しました。 ・インターネット販売や情報発信等への支援も含め、「販路の拡大支援」という書きぶりになっています。
現状・課題 取組方針	林業は環境問題や商工業にも関わってくる部分であり、何か取組を考えてもらえないか。	・取組方針③の主な取組に追記しました。
現状・課題 取組方針	水産業については、後継者不足と環境問題が喫緊の課題である。野洲だけで解決できる問題ではないが、野洲市としてできることを進めていく必要がある。	・琵琶湖の保全については「4-2 自然環境・美しい景観の保全」に記載しました。

意見箇所	委員からの意見(編集)	対応・質問に対する回答(案)
指標	計画に実効性、具体性を持たせるために、商工業の施策と同様、方針それぞれについて指標を考えるのはどうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指標についてご意見をお願いします。
指標	生産高を指標にするのはどうか。米の生産は生産調整により減少傾向にあるため、転作によって今後の伸びが見込まれる作物の生産高などを指標にするのが良いと思われる。	